

私の視点

白髪のはげ毛は円形脱毛症の回復期の証拠か？

菅原 弘二 (大阪市立大学大学院医学研究科皮膚病態学准教授)

「先生、髪のはげ毛は生えてきたんですけど、白髪なんです。これって、一生白髪のままなんじゃないか？」

脱毛症の専門外来で、円形脱毛症の患者さんからよくされる質問です。確かに、円形脱毛症の回復期の患者さんでは、脱毛斑内部から白髪のはげ毛を認めることが多いように思います。

円形脱毛症はご存知のように、毛包部における免疫寛容状態が何らかの誘因によって破綻し、自己免疫的機序による炎症反応が毛包に対して惹起されることが原因であるといわれています。過去の論文を調べてみますと、諸説あるのですが、毛包の中でもメラノサイトに関連する物質が円形脱毛症の自己免疫反応のターゲットとして関与する可能性を示唆する報告もみられます。毛包におけるメラノサイトは毛球部に多く存在しています。円形脱毛症の脱毛部の毛包では、組織学的に毛球部周囲にリンパ球中心の炎症細胞浸潤が認められます。その原因として、これらの炎症細胞が毛球部のメラノサイトを狙った結果である可能性も十分考えられます。

この「円形脱毛症—メラノサイトターゲット説」を信じるのであれば、回復期で白髪が多く認められるのは、こういった機序からでしょうか？

過去の文献を読んでみると、どうやら回復し再生する段階の毛包では、メラノサイトの数とその活動性が低下しているため、結果として白髪が認められることが多いようです。

ただ、実は1つひとつの細胞はわれわれが考えているよりもはるかに賢くて、メラノサイトがリンパ球を含めた炎症細胞からの攻撃から逃れる方法として、メラニン産生を含めた活動性を自分で自粛してしまうという機序や、メラニン産生をあきらめて、リンパ球を抑制するサイトカインなどを産生するphenotypeにシフトする可能性などもあるかもしれない、もしあったら面白いなあ、と妄想して日々診察しております。

いずれにしても、円形脱毛症の患者さんから白髪が認められ始めた場合、「円形脱毛症の回復期では白髪が出てくることが多いですよ」と返答すると、患者さんは一応？ 安堵した様子で診察室を後にされることが多いです。



図 円形脱毛症の回復期(ステロイドパルス後)